



連合奈良の日(9月度)

私たちの生活と政治

近鉄大和高田駅で、私たちの日常生活に「政治」が深くかかわっていること、だからこそ「政治」に無関心ではいけない、と西田会長はじめ中和地域の友好議員から訴えました。「政治」に無関心でも「政治」は私たちの生活から切り離せない、無関係にはなれないという事です。生活そのものが「政治」の反映の上で成り立っています。

政治に無関心という声や投票率の低さがよく話題になります。特に若い人たちの投票率が低水準であることに危機感すらおぼえます。政治参加の大切さ、必要性を一緒に考えてみましょう！

7月の街宣時もそうでしたが以前のような人通りはなく静かな駅前風景でした。そんな中でしたが西田会長はじめ中和地域の各議員から政治への関心やコロナ対策、労働相談等々多岐に渡って訴えをしたところ。中和地協では、「連合」の知名度アップに向けてティッシュ配布時のバッグや夏用の



ユニフォーム(ビブス)を連合奈良の日の「のぼり旗」と合わせて作成し今まで以上に「連合」を意識してもらえる街宣行動を始めました。

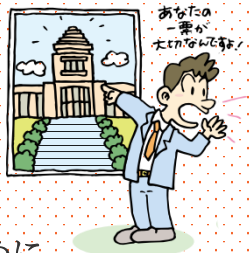


政治って何だ

「政治」という仕組みを通して法律や条例が作られ、その法律や条例に基づいて学校や道路、社会生活を営む上で必要な施設を作ったり、困っている人を助けたり、感染症を予防するなど個人の力だけでは成しえない様々なことが行われています。

このように私たちの暮らしは、「政治」の在り方によって大きく変わってくるものです。「政治」は私たちの身近にあってとても重要なものなのです。

しかしながら、私たちが「政治」に関わる全ての問題を解決するために膨大な時間とエネルギーを使ったとしても判断し実行することは、とても大変なことです。不可能と言った方が正確かもしれません。



だから私たちは、「政治」を行うために「選挙」という制度によって私たちの代表者を選んで、「政治」に参加するという方法をとっています。



そうです！「選挙」こそが私たちが直接動かさない「政治」を動かす原動力です。言い換えれば「政治」は、私たち一人ひとりの意思に基づいて行われるんです。

「国民は、その国民のレベル以上の政府を持ってない」という言葉があります。みんなが高い政治意識を持てば、優れた代表を選び・選ばれ、政治は必ず良くなります。政治に無関心であったり投票しないことは「天に唾する」ようなもの。



緊急事態宣言って何？

懸念していたお盆後のコロナ感染者数の増大。増えるだろうと懸念はしていたが、ここまでとは思わなかった。想定外である。緊急事態宣言地域も拡大され、期間も延長・延長である。効果のほどはどうか？効果があるなら宣言発出から2週間後くらいで減少に転じるんだろうという単純な話ではなさそう。



要請を受け入れない、ルールを守らない・無視するなどの行為が横行すれば宣言の効果も期待薄だろう。そういう大人たちを子供たちは見ている。声は上げないけど、ちゃんと見ている。

反面教師になれば良いが、「それも有りなんだ」と思われたらこの国はどんな国になっていくんだろうと心配になる。正直者が馬鹿を見るような世の中にしてはいけない。ココにも政治との関わりがある。

再度、再々度・・・何回目か覚えていないが、またまた緊急事態宣言の期間を延長するんだとか。コロナ収束に向けて、どれ程の効果と結果を期待しているのか。食事をしたりお酒を飲むと話が弾んで「飛沫感染」につながる、という理屈はよく分かる。けど、飛沫への対策はいち早く実施されたはず。本当に飲食店の営業時間、お酒の提供が主原因なのか？原因が無ければ結果は生じないのだから実験的にデータをとってみたら・・・と言ったら暴論か？繰り返される緊急事態宣言。本当にこれで良いのだろうか？

